

沼津市観光振興ビジョン(案)に関する意見募集の結果について(意見の内容と市の考え方)

○パブリック・コメントの実施状況

・実施時期:令和7年12月18日(木)～令和8年1月19日(月)

・提出者数:2名

・意見数:8件

沼津市観光振興ビジョン(案)パブリックコメント				
No.	ページ	意見の内容	市の考え方・対応	修正の有無
1	3	3ページにある地図には富士山静岡空港も記した方がよい。	ご意見のとおり、地図に反映いたします。	有
2	12 13 18 19	懇話会メンバー11人のみのヒアリング調査は分析に値する調査なのかとの疑問が拭えない。 また、観光ポータルサイトのアナリティクス解析データが抽出され、どのような分析に繋がり、そしてどのようにビジョンに反映されたのか。	有識者、観光関連事業者及び公募市民により組織された懇話会のメンバーへのヒアリング調査は、統計的代表性を目的とするものではなく、学識経験者や観光事業者、交通事業者、地域団体、市民公募委員等の実務的・専門的知見を政策に反映するための質的な情報収集です。様々な観点から本市観光の現状を分析するあたり、懇話会メンバーへのヒアリング調査は非常に有効であったものと考えております。 また、本ビジョン(案)の骨子の策定段階から、ポータルサイト各ページのPV数やオーガニック検索クエリをはじめとする各種データを参照した上で目標・方針を設定し、ビジョンの改定を行っています。	無
3	24	観光交流客数の目標を500万人の根拠を記してください。 2025年度の目標は600万人より減った理由も説明もするべきではないか。	観光交流客数の目標値500万人は、過去の実績や伸び率、宿泊・交通等の供給面や社会動態に関する統計等を総合的に勘案し、本市が持つ資源と実行可能性を踏まえて設定した数値です。 なお、現ビジョンの600万人目標は、コロナ禍当時に想定した目標であり、社会状況が大きく変化したため、本ビジョンでは最新の状況を反映して再設定しております。	無
4	25	目標部分の画像を変更するべきでは。	ご意見のとおり、修正いたします。	有
5	31	交流人口の拡大→関係人口の創出→定住人口の増加を施策の中心に据え、人口減少社会に対応しようとしており、施策の連動性を明確にしている自治体が多い。 今回の沼津市のビジョンにおいてはほとんど語られていないのが実状ですので、この点での再考及び明示化が必要ではないか。	本ビジョンは第5次沼津市総合計画を基にした個別計画に位置し、主に交流人口の拡大・関係人口の創出に焦点を当てるものであり、定住促進策そのものを直接扱うものではありません。とはいえ、交流や関係人口の創出が中長期的に定住につながることは認識しており、総合計画や関係部局と連携して観光施策が定住に資するよう運用してまいります。	無
6	31	どういった方々とビジョン共有をしたいのかが見えてこない。	本ビジョンは、観光を通して地域の魅力を高めるための重要な指針となり、市民や観光事業者等とともに沼津の発展を目指す土台として作成しております。今回の改定では、シビックプライドの醸成、官民連携による推進を重視しています。また、今後各施策の推進状況については、観光に関わる有識者・事業者による施策の点検・評価を実施してまいります。	無
7	35	ビジョンに「海」の要素や視点が不足している。	「海」はご意見のとおり、本市における重要な地域資源であると認識しております。 については、地域資源の発掘・磨き上げとして三浦エリアに「漁港を活用したマリンレジャーの展開など、ペスカツーリズムへの発展が期待される「海業」の取組」を記載するなど、「海」に関する記述を追加いたしました。	有
8	36	アスルクラロ沼津に関する記載がないが、少し掘り下げて記事と画像を加えた方がいいのではないか。	ご指摘のとおりアスルクラロ沼津は市民に親しまれているチームであり、市も地域スポーツの振興には理解と敬意を持っておりますが、本ビジョンの作成にあたっては、特定チームの記載や画像掲載は行っておりません。その代わりに、本ビジョンではフェンシングやサッカー等の競技を活用したスポーツツーリズムの推進を掲げ、競技全体としての受入れ体制強化や大会・イベント誘致、地域連携といった取組みを通じて、地域スポーツの振興と観光振興の両立を目指しています。 今後も地域チームとの連携や大会情報の発信、広報素材の提供など、実務面での協力や個別の取組みについて、関係部署で引き続き対応してまいります。	無